

供給状況

					比較対象期間：2022年4月～2023年3月の月平均出荷量 日薬連通知に基づく表記			
No	製品名	GS1コード(販売単位)	統一商品コード	包装	出荷量の状況	製造販売業者の対応状況	限定出荷等 解除見込み時期	更新情報
1	テグレート <sup>®</sup> 錠100mg	14987047211183	047211186	10錠×10	Aプラス. 出荷量増加	② 限定出荷(自社の事情)	未定	-
2		14987047211190	047211193	500錠(バラ)				
3	テグレート <sup>®</sup> 錠200mg	14987047211206	047211209	10錠×10	A. 出荷量通常	② 限定出荷(自社の事情)	未定	-
4		14987047211213	047211216	500錠(バラ)				
5	テグレート <sup>®</sup> 細粒50%	14987047211220	047211223	100g	Aプラス. 出荷量増加	③ 限定出荷(他社品の影響)	未定	-
6	メタコリマイシン <sup>®</sup> 顆粒200万単位/g	14987047121857	047121850	100g	C. 出荷停止	-	再開予定なし	-
7	オクトレオチド皮下注50μg「SUN」	14987047211510	047211513	10/バイアル	A. 出荷量通常	② 限定出荷(自社の事情)	未定	-
8	オクトレオチド皮下注100μg「SUN」	14987047211527	047211520	10/バイアル	C. 出荷停止	② 限定出荷(自社の事情)	未定	-
9	ルジオミール <sup>®</sup> 錠10mg	14987047211534	047211537	10錠×10	C. 出荷停止	② 限定出荷(自社の事情)	未定	-
10	ルジオミール <sup>®</sup> 錠25mg	14987047211565	047211568	10錠×10	B. 出荷量減少	② 限定出荷(自社の事情)	未定	-
11	グルコンサンK錠2.5mEq	14987047116211	047116214	100錠(10X10)	Aプラス. 出荷量増加	② 限定出荷(自社の事情)	未定	-
12		14987047116228	047116221	1000錠(10X10X10)	C. 出荷停止	② 限定出荷(自社の事情)	未定	-
13	グルコンサンK錠5mEq	14987047116235	047116238	100錠(10X10)	Aプラス. 出荷量増加	② 限定出荷(自社の事情)	未定	-
14		14987047116242	047116245	1000錠(10X10X10)	B. 出荷量減少	② 限定出荷(自社の事情)	未定	-
15	グルコンサンK細粒4mEq/g	14987047116259	047116252	1g×120包	B. 出荷量減少	② 限定出荷(自社の事情) ③ 限定出荷(他社品の影響)	未定	-
16		14987047116280	047116283	バラ600g				
17		14987047116266	047116269	1g×600包	A. 出荷量通常	② 限定出荷(自社の事情) ③ 限定出荷(他社品の影響)	未定	-
18		14987047116273	047116276	1g×1200包	Aプラス. 出荷量増加	③ 限定出荷(他社品の影響)	未定	-
19	オルセノン <sup>®</sup> 軟膏0.25%	14987047111056	047111059	30g×1本	C. 出荷停止	② 限定出荷(自社の事情)	未定	-
20		14987047111063	047111066	30g×10本	C. 出荷停止	② 限定出荷(自社の事情)	未定	-
21		14987047111070	047111073	100g	C. 出荷停止	② 限定出荷(自社の事情)	未定	-
22		14987047111087	047111080	500g	C. 出荷停止	② 限定出荷(自社の事情)	未定	-

出荷量及び対応状況の内容について：「医療用医薬品の供給状況に関する用語の定義の見直しについて」(日薬連発第137号)

日薬連通知に基づく表示についての解説

出荷量の状況	解説
Aプラス. 出荷量増加	: 比較対象期間の出荷量*2又は市場予測による予定出荷量と比較して概ね110%以上の出荷状況
A. 出荷量通常	: 比較対象期間の出荷量*2又は市場予測による予定出荷量と比較して概ね 90%以上110%未満の出荷状況
B. 出荷量減少	: 比較対象期間の出荷量*2又は市場予測による予定出荷量と比較して概ね 90%未満の出荷状況
C. 出荷停止	: 市場に出荷していない状況
D. 販売中止	: 当局へ「薬価基準収載品目削除願」を提出し、薬価削除に向け対応を行って

\*1 出荷量とは、出荷可能量(出荷量+自社在庫量)とする。  
 \*2 比較対象期間の出荷量とは、原則として前年度(4月～3月)の月平均出荷量とする。  
 但し、季節性製剤や新規収載品目、直近の期間で急激な需要の増減があった製剤などについては、市場予測による予定出荷量など、各社で妥当な定義を設定して差し支えない。

製造販売業者の対応状況	解説
① 通常出荷	: すべての受注に対応できている状況
② 限定出荷(自社の事情)	: 自社の事情*1により、すべての受注に対応できない状況*2
③ 限定出荷(他社品の影響)	: 他社品の影響*3等により、すべての受注に対応できない状況
④ 限定出荷(その他)	: その他の理由*4により、すべての受注に対応できない状況
⑤ 供給停止	: 様々な理由により、供給を停止している状況

\*1:「自社の事情」とは、製造販売業者の責任の範囲内の事情(原薬を含む原材料の調達トラブル、製造トラブル、品質トラブル、行政処分など(製造委託先も含む))  
 \*2:「すべての受注に対応できない状況」とは、新規顧客の注文や増量受注の辞退など  
 \*3:「他社品の影響」とは、他社品の出荷量減少等に伴う自社品の需要増など  
 \*4:「その他の理由」とは、季節性製剤や一過性需要過多、災害等による被害など